

G7直前国際シンポジウム

気候変動とエネルギー

石炭火力の 課題に迫る

気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で成立した「パリ協定」では、世界が脱炭素化にむけて大きな転換を図ることに合意しました。COP21後の初の主要国首脳会議となるG7伊勢志摩サミットでは、議題の一つに気候変動とエネルギーが取り上げられる予定です。本シンポジウムでは、各国から専門家をお招きし、気候変動・健康・経済・人権などの様々な観点から石炭火力発電の課題に迫り、脱炭素化への道を探ります。

日時 2016年 **5月20日** (金)

9:30~17:30 (開場: 9:00)

場所 国連大学 ウ・タント国際会議場
(東京都渋谷区神宮前 5-53-70) ※裏面に地図

参加費 無料

言語 日英同時通訳あり

主催・お問い合わせ

G7直前シンポジウム企画委員会

Tel: 03-3263-9210 Fax: 03-3263-9463

Email: preG7symposium@gmail.com

PROGRAM —プログラム— 予定 (敬称略)
(予定は変更の可能性があります)

9:30 開会

9:30-11:30

第1部. リスクを認識する

1. 気候変動の観点から
リンディー・ウォング
(Ecofys コンサルタント)
2. 健康影響の観点から
ラウリ・ミルヴィエルタ
(グリーンピース 石炭・大気汚染部門
上級国際キャンペナー)
3. 経済性の観点から
ベン・カルデコット
(オックスフォード大学持続可能金融プログラム
ディレクター) ※ビデオ出演

11:30-13:00

第2部. 国内の政策

1. G7 諸国の石炭政策
クリス・リトルコット
(E3G 化石燃料転換・CCS 部門リーダー)
2. 日本の気候変動・エネルギー政策
平田仁子 (気候ネットワーク 理事)
3. 各地の住民の声
中山敏則 (千葉県自然保護連合 事務局長)
川野達雄 (神戸公害患者と家族の会 会長) 他

13:00-14:00 昼食休憩

14:00-16:00

第3部. 国際的な支援政策

1. 国際的な投融資政策—OECD 合意と各国の反応
ケイト・デアングリス
(FoE US 国際政策アナリスト)
2. 日本の融資政策
田辺有輝
(「地球・持続社会」研究センター (JACSES)
プログラムコーディネーター)
3. 途上国における環境・社会問題
インドネシア: **ピウス・ギンティン**
(インドネシア環境フォーラム 調査部 部長)
ベトナム: **ベトナムの団体** より
インド: **スバシュ・モハパルタ**
(グローバル人権コミュニケーション 事務局長)

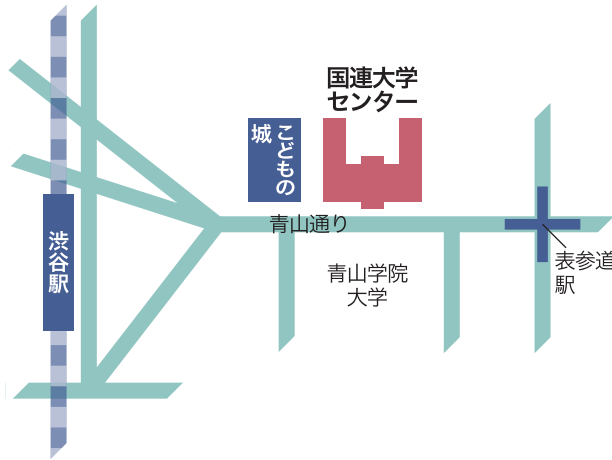
16:15 -17:25

第4部. パネルディスカッション : 日本とG7 各国の役割

17:30 閉会

気候変動とエネルギー：石炭火力の課題に迫る

会場
アクセス



国連大学

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70)

- JR 渋谷駅から徒歩 10 分
- 地下鉄表参道駅出口 B2 から徒歩 5 分

お申し込み
方法

申込みフォーム <http://goo.gl/forms/DW7G3FJN0k> よりお申込みいただくか、以下に、お名前（ふりがな）・E-mail、所属・部署・役職をお書き添えの上、Fax でお送りください。
*ご連絡いただく個人情報は、参加人数の把握、今後関連するイベントなどのご案内にのみ使用させていただきます。

FAX : 03-3263-9463

G7 直前 国際シンポジウム 気候変動とエネルギー：石炭火力の課題に迫る



↑
インターネットの
申し込みフォームに
つながります

ふりがな		
お名前		
E-mail		
所属	部署	役職

主催
お問い合わせ

G7 直前国際シンポジウム企画委員会

Tel : 03-3263-9210 Fax : 03-3263-9463

Email : preG7symposium@gmail.com

協力団体

「環境・持続社会」研究センター (JACSES)、国際環境 NGO FoE Japan
気候ネットワーク、グリーンピース・ジャパン、WWF ジャパン